

とみおか
アーカイブ・
ミュージアム
企画展

協定締結10周年企画展

富岡町と福島大学 のあゆみ

地域の歴史をつなぐ

2017年のフィールドワーク(大原本店)

会期

2025 11/15 土 - 2026 1/12 月祝

9:00～17:00(最終入館16:30)

入館無料

休館日

2025年 11月17日、25日
12月1日、8日、15日、22日、29日、30日、31日

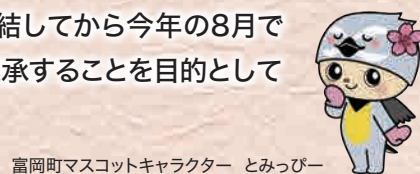
2026年 1月1日、2日、3日、5日

主催/とみおかアーカイブ・ミュージアム 後援/国立大学法人福島大学

とみおかアーカイブ・ミュージアム

2015年8月27日に富岡町と福島大学が歴史・文化等保全活動に関する協定を締結してから今年の8月で10周年を迎えました。富岡町の歴史・文化等、地域の人々の営みを示す資料を後世に継承することを目的として協定を締結しました。

今回の企画展は、福島大学と富岡町の協定に基づくあゆみを紹介します。



1 東日本大震災の発生と原発事故

2011年3月の東日本大震災の発生後、原発事故によって設定された警戒区域のなかから文化財の搬出作業が行われました。警戒区域外の一時保管施設へ文化財を運び入れる作業では、福島大学の教員や学生にご協力いただきました。



▲文化財レスキュー事業（警戒区域からの搬出）



▲文化財の運び入れ（福島大学生 旧相馬女子高）

2 協定締結の経過

2015年8月「富岡町と福島大学の歴史資料保全に関する協定」が締結されました。現在も協定に基づく保全作業が続いています。



▲協定締結式

3 これまでの取り組み

2017年以降、富岡町でフィールドワークが行われました。その他、福島大学と連携して資料のクリーニングや写真撮影などの整理作業を現在も継続して実施しています。



▲大原本店フィールドワーク



▲資料整理作業（撮影）

4 協定締結と活動の意義

福島大学の学生が、作業を通して見えてきた富岡町の姿を展示します。



▲多古藩陣屋絵図

5 資料保全・整理活動に参加した学生の声

実際に作業に参加した学生や卒業生の声を紹介し、どのような思いで作業にあたったのか、これまでを振り返ります。



▲資料整理作業（クリーニング）

企画展連携イベント 「大原本店見学会」「資料クリーニング体験会」開催

詳細はホームページ・SNS等でお知らせします



■東京方面から

- ・東京駅→JR常磐線特急ひたち利用（約3時間）……………→富岡駅……………→
- ・東京駅→高速バス利用（約4時間20分）……………→富岡営業所……………→
- ・常磐自動車道経由一般道利用（約3時間15分）……………→富岡駅……………→

■仙台方面から

- ・仙台駅→JR常磐線特急ひたち利用（約1時間30分）……………→富岡駅……………→
- ・常磐自動車道経由一般道利用（約1時間40分）……………→富岡駅……………→

■いわき方面から

- ・いわき駅→JR常磐線利用（約40分）……………→富岡駅……………→
- ・いわき駅前→新常磐交通バス利用（約1時間10分）……………→富岡駅前……………→

■富岡駅から当館まで（一般道約2.3km）

- ・タクシーまたは循環バス利用（約5分）……………→

とみおかアーカイブ・ミュージアム

とみおかアーカイブ・ミュージアム

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760番地の1
[TEL]0240-25-8644 [休館]月曜（祝日の場合は翌平日）



とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式Facebook



とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式Instagram

